

# 夕刊 磐城新聞

行發日十二月六

日刊日翌日祭曜日

## 壺

永井善太郎

十三吉は孤兒だつた、朝家の甲は洞穴のやうにうす  
なる親方から渡された暗く、しめつぱく、陰氣く  
一抱へのたわしの束をかかき、人の姿も見えなかつ  
へて、村から村へ賣り歩か  
ねばならなかつた

「十三吉は、もう一度、こん  
朝、一杯のお粥をすすつた。ちよと云ふのだつた。する  
きりだつた。十三吉の目はどつたりと昏がして鼠がチ  
赤く腫れてゐた。十三吉は  
ユツチュツと騒ぎし、又も  
ゆふべも、父と母のおもとの静けさに返るのだつた  
かげを壁の上に指で描いて  
いつまでもいつまでも泣いて  
ゐる。十三吉の腹がきゆ  
てゐた。黒く汚れた器の上  
へ、睡でぬらした指先で泣  
きながら描いてゐた。指の  
爪が、桃色の貝のやうに美  
しく柔かくなつてゐた。

十三吉の頬つべたには、  
青い毛虫のやうな、小腫  
れがしてゐた。悲しさがこ  
みあげてくると、泣きさか  
じやくると、寝てゐた親子  
が、ごろりと寝返つて、火  
箸でびしやりとひつぱりた  
のだつた

それにしては十三吉の父  
と母とは、あの風の夜、小  
さな漁船を海に乗り出した  
まゝ、死んでしまつたのか  
それともどこかの海邊に生  
きてゐるのだろうか

十三吉はたわしの束をか  
へて、百姓家の支那をが  
らりと明けて「こんにちは」  
と言ふのだつた

「こんにちは、たわしを買つ  
てくだつせよ」  
けれどもどこの百姓家も

## 馬鹿三考

高瀬勝男

さて訓して、出世前は酒  
をのみと、謙直な息子、  
代理、代理と重なるうち一  
盃の酒身にしてみても、彼もの  
む、たれものむ、老若なし  
儀禮と極へ、いつとはなし  
たしなむ、冠婚葬祭酒がな  
い、この酒は誰理がな

海  
どこまで廣い  
どつしりとして  
いつまで  
静まりきつてゐるのか  
それが……  
恐ろしい

贈再皆川氏  
珠雲 小野勝平  
分手忽々二十年  
山河隔絶夢相牽  
願君時時寄陶陶  
幾百真娘感化全

山路不二男  
夕がた お空が  
焼けたよ焼けた  
お山が火事でも  
あるのかな  
夕がた お空が  
赤いよ赤い  
お空がお化粧  
したのかな

## 高橋是清

佐々木今朝吉書  
異人館の悪童(五)  
星は和喜次を引見して  
「君が高橋和喜次か」  
デロリと見下して言つた  
「はい。たむりを覺悟して  
参りました」  
和喜次が言ふと  
「真逆な！」  
と、然し漸く表情を柔ら  
げ、  
「身持を改めればいかに  
「捕鯨船に乗組むと言ふの  
も、意氣は宜い。而し無謀  
だ。年少客氣の勇は採らぬ  
「はい」  
「織田の話で改心の證據は  
見届けたから、大重殿にお  
江戸へ行つて會つてみるが  
「は、い」  
大重信太夫は讀書中だつ  
た。然し同時に、別れの悲しみ  
が、彼女の胸を曇らした  
「お前の學と言ふもろちや  
決して、殿様の、お情を忘れ  
留守居役様の、お情を忘れ  
に負ひぬやう、懸命に勵ん  
て下さい。そして、一日も  
早く戻つて呉れるやう。祖  
母はそれまで……」  
喜代子は我れにもあらず  
和喜次の身體を膝下に振き  
「御高配、判らぬぞ」  
「恐入ります。では申し上げ  
ます。今度六之助と私奴と  
が、藩から距離米加留學の  
御命令を受けらるることになり

## 農村保育所風景

好間 伊藤寒山子

△あそび  
砂すくふ垂懸に新樹の陽がこぼれ  
箱車六月の雪白くながれ  
△つかれ  
實穂のむらさきうなるの瞳をうばふ  
ふらふらの緑の靴にゆめ生るゝ  
ふらふらに實穂のゆめのりきたる  
△をしへ  
蛇毒熱し野みちによらしめず  
紙芝居新樹がにはふ彌陀のまへ

まぬらしい、改めて本日よないが、漫書でみた〇〇の  
り禁酒、朝令暮改もかくあ大人は、丈のひくい、そし  
らん、まもなく、出世前まで終つたらしい生やした姿  
れど、酒と出世は別のことだつた、ぐるわには山高帽  
やら、光る徽章やら、六、又、いばらなかつたなら  
のか、凡そしらない  
馬鹿といふ奴は、目によの由上げやうもありませぬ  
「はい。御高配の程、お禮  
「御高配、判らぬぞ」  
「恐入ります。では申し上げ  
ます。今度六之助と私奴と  
が、藩から距離米加留學の  
御命令を受けらるることになり

## 三井タキシ

電話六八五番

「御高配、判らぬぞ」  
「恐入ります。では申し上げ  
ます。今度六之助と私奴と  
が、藩から距離米加留學の  
御命令を受けらるることになり



「御高配、判らぬぞ」  
「恐入ります。では申し上げ  
ます。今度六之助と私奴と  
が、藩から距離米加留學の  
御命令を受けらるることになり

「御高配、判らぬぞ」  
「恐入ります。では申し上げ  
ます。今度六之助と私奴と  
が、藩から距離米加留學の  
御命令を受けらるることになり

### 御宴會

毎度格別の御最良いたゞき難有く御禮申上げます。  
毎度御宴會季節と成りましたので、御宴會の御下命賜り度、  
御体様には徳用な下記御宴會規定を精々御利用下され度  
御願申上げます。

松印	3.50	御會席七品付(外果物、御飯香物) 藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料	共一式
竹印	3.00	御會席六品付(外果物、御飯香物) 藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料	共一式
梅印	2.50	御會席五品付(外果物、御飯香物) 藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料	共一式

但し十人以上ノット(酒飯五人様毎一二人二時間(松印ノ限)半十  
人様一一人付)御酒ハ御一人酒二本ヅ、ノット  
◎お申込みは時節柄なるべく至急下記へ  
お問合せは 電話(小名濱)103番  
通話料は別館にて預けいたします。  
小瀧鑛泉 瀧乃湯旅館 電話103 割烹部

### 安齋外科醫院

平町田町  
電話四七五番

### 大和田醫院

平町南町  
電話一七〇番

### 大和田醫院

平町南町一六番地  
電話一七〇番

### 高久病院

平町田町  
電話五三三番

### 亞鉛鍍金所

平町字大町五番地二亞鉛メッキ所  
新設シマシタ。何卒宜敷御引立  
程御願ひ申上ゲマス。

### 高柳醫院

醫學博士 高柳博明  
平町南町(電話三三六)

### 鈴木醫院

日本齒科 鈴木喜政  
内郷村高坂醫院前  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前

### 上田醫院

公社債株式現物賣買  
病室完備 (電話二一九)

